

# 警城時報

本報創刊於昭和二年十月十一日  
社址 警城町三丁目  
電話 一四七  
代印 警城町三丁目  
印刷 警城町三丁目

## 白井遠平翁逝く 九日午後四時東京市で 葬儀は十五日平町で執行

福島縣農工銀行頭取白井博之氏  
嚴父白井遠平翁は、病氣  
のため東京市本郷區上富士町の  
邸宅で療養中であつたが、九日  
午後四時遂に逝去した。享年八  
十二歳。訃に接した白井家から  
は白井博之氏を始め警城銀行専  
務白井一郎外近親者悉く上京し  
た。外中野甲藏、草野順平、鈴  
木辰三郎、古川傳一、井上茂作  
小野晋平氏等地方有志上京した  
遺骸は茶屋に附した上近親知己  
に護られて十三日午後五時五分  
平野町、紺屋町の白井家控邸に  
安置した。十五日平町南町警城  
銀行理立地に於て葬儀を行ふ筈  
である。

## 學務課長を招ぎ けふ植田校落成式

### 消防組で協賛會を組織し 假裝行列や提灯行列

植田町小學校は、昨年十月竣工費待につとめ余興として花角力、  
八萬七千四百五圓を以て平屋建芝居、弓術等を催し青年團、同  
三棟、普通教室十九、特別教室三會では假裝行列、夜間は提灯  
三建、坪總數八百九十坪、運動行を進行し、十一日の雨日は  
場三千坪の大小學校を建設本年同校内に縣下六十二校出品の學  
六月竣工したが、これが落成式は術展覽會を催す。

## 調査中の 平町高齢者

長、大越、小池兩縣視學、安井  
屬其の他各町村長、郡内小學校  
校長、町有志等列席盛大に舉行平町で水道竣工祝賀式當日小學  
することゝなつた。席上建築功校生徒、共、町民を代表して祝  
勞者として小野忠衛氏外三十五歳の紅白餅を贈る。男女八十歳以  
名を表彰する筈で當日植田消防上の高齢者は目下各區長に依り  
組では協賛會を組織し來賓の概調査中で既に報告済となつた。

の廿余名に達し全町には八十  
名を突破する見込であるといふ  
が最高齢は九十一歳で男女別に  
見れば男、女に多數の高齡者  
を有してゐる。

## 三名釋放さる

平町  
に於ける民政派の選挙違反とし  
て檢査され平町事務所收容中  
あつた小野某外三名は九日午後  
八時釋放された。

## 鐵道現業委員會

東  
京鐵道局現業委員會は来る十九  
日、二十日の兩日平町元石郡  
役所に開く。

## 女子中等校庭球戦で 警高女校優勝

縣下女子中等校庭球大會は九日  
午前十一時から福島高等女學校  
コートで開かれた。出場選手九  
校二十七組競戦の結果警高女  
女學校が左の如く優勝し榮え  
る優勝旗を授與された。選手一  
行は十日歸平の筈である。

## 八日會員清遊

平町  
田町八日會例會は八日午前八時  
藤田女學校集合鎌田橋畔より乗  
船及井川を下航河口に至り正午  
より園遊會を催し投網打ち等狩  
りを催し夕刻歸平した。

## 美事帝展に入選した 平町出身無名の青年

八幡小路の本多朝忠君  
帝國美術展覽會出品物の入選  
は十日發表されたが、彫刻に  
「夜陰」を出品し見事に入選の  
榮を得た純粋の平出身無名の  
青年がある。その人は八幡小  
路に居住する本多朝忠(三三)  
君と言ひ平町の高等小學校を  
卒業したばかりの學歴しか持た  
ぬが、彫刻の天才家だ既に今

## 酌婦を誘ひ損ねた 偽刑事捕はる

宮城縣刈田郡白石町宇柳町生れ  
の偽刑事は、去る一日午後十二時  
當時平町柳町居住無職鈴木又三  
郎(二一)は去る一日午後十二時  
取調中である。

## 稲立毛品評會

赤井  
村稲立毛品評會は十七日、十八  
日兩日舉行の筈で神尾技師出張  
審査の筈である。

## 産婆同好會 十日發會式

會長は清野女史  
イハキ産婆同好會發會式は十日  
午後一時から平町南町平産婆看  
護學校内に開催、會員二十五  
名の外木村、實川、根本の三醫  
師其他有志等臨席會長は清野キ  
藤田女學校集合同好會より乗  
船及井川を下航河口に至り正午  
より園遊會を催し投網打ち等狩  
りを催し夕刻歸平した。

## 五人殺公判 十五日開廷

を齎して九日夜八幡小路の  
同氏宅を訪へば夫人は「入選  
したのですつて？ほんとうで  
すか」と始めて知つた感し  
に流石喜びの色を顔に浮べ  
らる。夫は本年三月彫刻研  
究の目的で上京し、秋の展覽  
會に出品するものを七月頃か  
ら作り始めた事は手紙で知  
りましたが、夜陰だなんて言  
なものかと言つては三三年は  
かかると思つてなりましたが、第  
一回目に入選しやうと思ひ  
ませんでした。云々」

## 車中にて

古川傳一  
落葉焚くかたへに幣木すてや  
ら若僧獨り思案に耽る

## 申合規定

一、診察料 金壹圓以上(自宅  
及び再診より五十錢)  
一、平常産 金拾圓以上  
一、異常産 金十五圓以上  
一、死産證 金壹圓以上  
一、灌腸料 金五十錢以上  
一、導尿管 金五十錢以上  
一、徹夜附添料 金貳圓以上  
一、七夜後沐浴料 一回金五十  
錢以上(一里以内とす一里を  
増す毎に壹圓)  
一、證明書 金壹圓以上  
一、往復に要する車料は別に申  
受くること  
本會は慈善部を設け貧困者の  
分娩材料代として金貳圓以下  
を送る事、但し異常産にして  
醫師の招聘を要する場合は車  
代とし、金參圓を送る事

## 親睦を計る目的とするもので 産婆料金等について左の如き申 し合はせをなす。

### 強盗犯人 東京で捕はる

宮城縣柴田郡村田町生れ前科一犯門馬延次(二六)は石城郡地方に於て強盗、窃盗を働らき逃走中の處平署では同人は九日東京府下南千住署管内に潜伏してゐる事を確かの刑事出張して引捕へた。

### 平町の 陪審員資格者

後備入管通信 (第六信) 麥人生 今日初めて射撃をする、パールの發射するあたりの山々

### 松たけ大暴落!!!

松茸 ななべ 好季節!!! 拾数年の経験より得た「石川のななべ」は又格別の風味を加へました。殊に松茸の出盛り頃は牛肉の最も味付き時です。御家族御同伴の晝夕食。大小御宴會並に紅葉狩りの御歸りに是非「ななべ」を圍んで御談笑の程御待ち申します。

### 牛鳥肉 町料理



▲堤の内 丹野金藏、大和五平、次、竹島清次郎、佐久間文吉、大塚武雄 ▲新川町 野本龜吉、長小次郎、大内吉太郎、中野勇吉、鈴木伊平、吉田三郎、薄葉巳之松、田中宣治、阿部英次郎、吉野柳吉、吉田庄次郎、松崎房次郎、吉野良吉、吉田定太郎、吉田松吉、鈴木市三、松崎長太郎、馬目雄次郎、松崎菊三郎、松崎長三郎、松崎恒吉、菊地泰、諸橋國松、三森巳代松、山下伊之吉、丹野好三郎

### 梨即賣會

石城郡農會では既に第一回梨品評即賣會を開催し好績を収めたので掉尾の第二回品評即賣會を來る十二、三、四の三日間元郡衙議事堂に開催することとなり十三日審査を終り十四日即賣會を行ふ筈であるが、現狀授與式は十五日午後一時から同會場に於て第一回擬賞者の分と共に舉行する。

### 松茸狩り

平管林署主催の石城郡大野村白岩松茸狩遊園一行百五十余名は九日午前六時十分平管發四倉驛に下車同所より磐城セメント輕鐵にて大野村に至り現場まで徒歩指定の區域に於て夫々獲ものを索ね一日の清遊をほしむまに獲物を携へて歸平したが當日は左記百五十名の一團であつた。

### 湯本町の 圖書展覽會

湯本町に於て九、十の兩日町長會場を開くが會場は湯本小學校新校舎で一般來觀を歓迎する。尚ほ同町では歓迎の意で停車場前に意匠を凝らしたアーチを作つた。

### 平町各銀行、同十日會員、中學校、女學校、磐城セメント、四倉町有志、消防幹部、大野村有志、日の出石材社員其他

平町各銀行、同十日會員、中學校、女學校、磐城セメント、四倉町有志、消防幹部、大野村有志、日の出石材社員其他

### 印刷物は 加納活版所

印刷物は 加納活版所

### 賑はつた 松茸狩り

賑はつた 松茸狩り

### 創業三十周年紀念賣出し中御後 援を賜はりし御禮として

創業三十周年紀念賣出し中御後 援を賜はりし御禮として

### 特賣

特賣

### 松茸フライ

松茸フライ

### 洋式宴會

洋式宴會

### 仕出し 一の井

仕出し 一の井

### 電話六二五番

電話六二五番

### 岡山寫眞館

岡山寫眞館

### 磐城無盡商會

磐城無盡商會

### 例年の通り

例年の通り

### なべ焼うどん

なべ焼うどん

### 藤寅

藤寅

滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる薬酒 栗守酒 朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は睡眠の助力 栗守酒特約店 大平屋薬店 代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目電六二二

金印半天専門 優秀品証明 草野染工場 磐城平町 電話三四八番

最新強壯 回春劑 ビーナス 定價 三圓五圓 拾圓 廿圓 適應症 腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能 陰萎遺精、体力増進、新陳代謝等 平町專賣所 五丁目角 山野邊藥局

女學生同居者希望 三年生以上 貳人 裁縫及女學校生ニテ朝夕家事手傳 自炊生活同様ニテ通學希望者 問代不要 委細面談 平紺屋町 加納テウ

故母ヤス儀本日送葬の際に 遠路態々御會葬被下且つ御鄭重なる香奠を賜はり有難く奉深謝候一々拜趨御禮申上可き筈之處乍略儀以紙上御厚禮申上候 十月十日 石城郡鹿島村大字御代 男 八代 公義 虎昭 行定